

太平洋空軍司令官夫人ほか コロナ対応の施設を視察

First Lady of PACAF and Yokota key spouse group visit COVID-19 contingency towers

November 10, 2021

By Airman 1st Class Tyrone Thomas
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真1)横田基地で11月1日、新型コロナウイルス感染症に対応するための施設のの一つを視察する、第374空輸航空団副司令官ジュリー・ガウリン大佐(左)、シンディー・ウィルズバック太平洋空軍司令官夫人(中央)と他の幹部夫人たち。

インド太平洋地域の基地で実践している米国疾病予防管理センターが定める検疫と隔離ガイドラインは、即応展開態勢を維持する上で役立ち、自由で開かれたインド太平洋を維持する太平洋空軍の使命に戦略的価値をもたらす。



1

(写真2)横田のCOVID対応チームのメンバーに話をする太平洋空軍最先任上級曹長デビッド・ウルフ最上級曹長の夫人ドクター・ドニエル・ウルフ(中央)。

横田のCOVID対応チームは、横田のメンバーにCOVID-19の感染が疑われる際に隔離を行う施設の管理・運用を行っている。



2

(写真3)新型コロナウイルス感染症に対応するための施設のの一つを視察し、建物をあとにするシンディー・ウィルズバック太平洋空軍司令官夫人と他の幹部夫人たち。

基地の住民の健康と福祉を守ることは、任務遂行の要であり、その取り組みは日本のミッションパートナーを守ることに繋がる。今回の視察では、横田基地が実施した予防対策とCOVID-19の有事の運用で成功した例が紹介された。



3